

比較してみましょう②

ノッカー バイブレータ

VS

AIRSWEEP®

機能性

- バイブレータは、ホッパーの壁に揺れを発生させ材料の流れを活性化します。
- エアーノッカーは、ホッパーの壁に振動エネルギーを誘導し、材料に伝達して塊を緩めます。

- ホッパーの壁に沿って、ホッパーの壁に沿って、小さく同等に強力な圧縮空気の爆発を導き、物質を壁から持ち上げて適正な流れに戻します。
- ブリッジ、ラットホール、壁面付着の問題を完全に解決します。
- 各ノズルの周囲で最大2.44m(8フィート)の直径の物質の流れを活性化します。

騒音レベル

- ノッカーとバイブレータはどちらも、非常にうるさい音を出します。

- 耳にやさしく、目立たない「ポン」という音

保守

- 金属及び溶接疲労が、振動またはハンマリングにより発生する可能性があります。
- 運用コストが高いです。ノッカーとバイブレータは、動作に多くの空気または電力を使用します。

- ホッパーの壁面に損傷、振動、摩耗、ストレスが全くありません。
- 平均的なエアースweepシステムは、10cfm(283.2L/min)の圧縮空気またはガスを使用して、エネルギーとコストの効率を高めます。

物質の制御

- 粘着性の材料が残り、ブリッジ問題が解決されていても、時間の経過とともに、ホッパーの壁に蓄積します。
- 特に交差汚染が問題である場合は、ホッパーの壁を清掃するために、定期的なシャットダウンが依然として必要になります。

- エアースweepの各パルスはホッパーの壁に沿ってホッパーの清掃を行うため、物質が側面に付着したり、蓄積するのを防ぎます。
- 一般的に、バッチごとにホッパーの清掃が自動的に行われ『先入れ/先出し』を確実にし、公差汚染を防ぎます。

エアースweepを導入すれば、コスト削減、製造アップ、品質劣化防止等
多くの利点があります